

食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識等について」調査票

1 食品の安全性に係る危害要因等について

問1 日常生活をとりまく安全の分野のうち、自然災害、環境問題、犯罪、交通事故などの分野に比べて、食の安全の分野に対するあなたの不安感は相対的にどの程度の大きさですか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- 最も不安感が大きい
- 比較的不安感が大きい
- 中程度の不安感
- 比較的不安感が小さい
- 最も不安感が小さい

問2 以下の八つの要因それぞれについて、食の安全性の観点からあなたが感じている不安の程度を次の中から一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。また、以下の八つの要因以外に不安を感じているものがあれば、併せて「9 その他」に具体的な要因名を記入してください。

【要因】

- 1 遺伝子組換え食品
- 2 いわゆる健康食品
- 3 汚染物質
- 4 家畜用抗生物質
- 5 食品添加物
- 6 農薬
- 7 B S E（牛海綿状脳症）
- 8 有害微生物（細菌・ウイルス）
- 9 その他（自由記述）

【不安の程度】

- 非常に不安である
- ある程度不安である
- あまり不安を感じない
- 全く不安を感じない
- よく知らない

「いわゆる健康食品」とは、「保健機能食品」^(注)以外のもので、広く、健康の保持増進に資する食品として販売・利用されるもの

(注) 厚生労働省の保健機能食品制度の下で一定の条件を満たすものとして販売を認めているもの

「汚染物質」とは、この場合、食品添加物等の期待される効果を得るために意図的に添加されるものとは別に、食品に意図せず含まれる有害な物質（カドミウム、メチル水銀、ダイオキシンなど）を対象にしています。

問3 問2において、あなたが不安を感じるとした要因（八つの要因のうち「非常に不安である」又は「ある程度不安である」を選択した要因及び「9 その他」でああなたが記入した要因）についてお聞きします。

それぞれの要因ごとに不安を感じる理由を次の中から一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

【要因】

- 1 遺伝子組換え食品
- 2 いわゆる健康食品
- 3 汚染物質
- 4 家畜用抗生物質
- 5 食品添加物
- 6 農薬
- 7 B S E（牛海綿状脳症）
- 8 有害微生物（細菌・ウイルス）
- 9 その他

【不安を感じる理由】

- 科学的な根拠に疑問
- 規格基準や表示等の規制が不十分
- 事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問
- 食の安全性に関する情報が不足
- 過去に問題になった事例があり、不安
- 漠然とした不安
- その他（具体的に記入してください）

2 BSE及びvCJD、鳥インフルエンザについて

問4 以下にあげる三つの項目について、あなたのお考えはいかがですか。項目別に、最も近い選択肢を次の中から一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

【項目】

- 1 現在流通している国産の牛肉は安全である。
- 2 現在流通している国産の鶏肉や鶏卵は安全である。
- 3 BSE発生後、日本の食品安全行政は良い方向に向かっている。

【選択肢】

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

問5 以下にあげる八つの項目について、あなたはどの程度ご存じですか。項目別に、最も近い選択肢を次の中から一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

【項目】

- 1 日本では、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の患者発生が1名確認されている。
- 2 国産牛は、全てBSEの検査を行っている。
- 3 日本では、牛をと畜した後に、特定危険部位(人が食べるとBSEプリオンの感染の恐れがあるといわれている部分(SRM))が除去されている。
- 4 日本では、BSEの感染源と考えられている肉骨粉を牛に食べさせることを禁止している。
- 5 通常、鳥インフルエンザに感染した鳥と濃厚に接触しない限り、鳥から人に感染することはない。
- 6 鳥インフルエンザウイルスは、通常の調理温度で容易に死滅する。
- 7 通常、国産の鶏卵は、殺菌剤で洗卵されている。
- 8 通常、国産の鶏肉は、食鳥処理場で脱羽され、冷水で洗浄されている。

【選択肢】

- よく知っている
- だいたい知っている
- あまり知らない
- 全く知らない

問6 本年2月4日、厚生労働省によって我が国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)患者の確定がなされた際、同日、食品安全委員会では、次のとおり委員長談話を発表しました。

日本初のvCJD症例が確定したことについての食品安全委員会委員長談話(平成17年2月4日)

1. 今回、厚生労働省により我が国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)と確認された患者は、英国滞在時に感染した可能性が現時点では有力と考えられていると承知しています。
2. 当委員会が昨年9月に発表した「日本における牛海綿状脳症(BSE)対策について - 中間とりまとめ - 」にあるように、現在の我が国のBSE対策によって「vCJDが発生するリスクは、そのほとんどが排除されている」と考えております。
3. 国民の皆様には、現在の対策のもと流通している牛肉等を食べてもリスクは高まらないと考えておりますので、冷静に対応していただきますようお願いいたします。

あなたはこの談話が発表されたことを知っていましたか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- 内容についてもよく知っている
- 内容についてもだいたい知っている
- 発表されたことは知っている
- 知らなかった(この課題報告で初めて知った)

問7 問6において、「内容についてもよく知っている」、「内容についてもだいたい知っている」又は「発表されたことは知っている」を選択した方にお聞きします。あなたはこの談話について、どこで知りましたか。次にあげるものの中から選び、回答欄の該当する番号をすべて で囲んでください。(複数回答可)

- 食品安全委員会のホームページ等(食品安全委員会からの情報提供などを含む)
- 国(食品安全委員会以外の国の機関のホームページ、電話等による問合せ等)
- 自治体(自治体の広報誌やホームページ、保健所・消費生活センター等への電話などによる問合せ等)
- 新聞又はテレビ
- 消費者団体等の民間団体
- 小売店
- 知人又は友人
- その他(自由記述)

問8 問6の食品安全委員会委員長談話の内容について、あなたはどの程度ご理解できましたか。

次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

なお、今回初めて当該談話についてお知りになった方も、問6に記している談話をお読みになって御回答ください。

- よく理解できた
- だいたい理解できた
- あまり理解できなかった
- 全く理解できなかった

問9 本年2月4日の厚生労働省による我が国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）患者が確定されたことを知った時（今回初めて知った場合も含む）、現在の対策のもと流通している牛肉等の安全性について、あなたは不安を感じましたか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- 非常に不安を感じた
- ある程度不安を感じた
- 特に不安を感じなかった

問10 問9において、「非常に不安を感じた」又は「ある程度不安を感じた」を選択した方にお聞きします。その感じた不安感が、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）患者の確定がなされた同日に発表された問6の食品安全委員会委員長談話の内容を知って（今回初めて知った場合も含む）、どのように変化しましたか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- 不安感は払拭された
- 不安感はある程度緩和された
- 特に不安感は変わらなかった
- 逆に不安感は強まった
- その他（自由記述）

問11 問6の食品安全委員会委員長談話について、あなたはどのように思いますか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- 談話の発表時期、内容ともに適切
- 談話の発表時期は適切だが、内容は不適切
- 談話の内容は適切だが、発表時期は不適切
- 談話の発表時期、内容ともに不適切
- そもそも談話の発表に疑問

問12 問11において、「談話の発表時期は適切だが、内容は不適切」から「そもそも談話の発表に疑問」を選択した方にお聞きします。問6の食品安全委員会委員長談話について御意見があれば、回答欄にできるだけ具体的に記入してください。

3 食品安全委員会のホームページ及び季刊誌について

【ホームページについて】

問 13 あなたは食品安全委員会のホームページをどの程度ご覧になっていますか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- ほぼ毎日見ている
- 週に数回見ている
- 月に数回見ている
- これまで数回見たことがある
- ホームページを見る環境はあるが、全く見たことがない
- ホームページを見る環境にない

問 14 問 13で「ほぼ毎日見ている」から「ホームページを見る環境はあるが、全く見たことがない」のいずれかを選択した方にお聞きします。以下の五つの項目について、あなたの評価はいかがですか。ホームページを御覧いただき、項目別に次の中から一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

【項目】

- 1 情報発信量
- 2 情報の探しやすさ
- 3 内容の分かりやすさ
- 4 情報掲載のタイミング
- 5 総合評価

【選択肢】

- 非常に評価している
- ある程度評価している
- あまり評価していない
- 全く評価していない
- わからない

問 15 食品安全委員会のホームページについて、御意見があれば、回答欄にできるだけ具体的に記入してください。

【季刊誌『食品安全』について】

問 16 食品安全委員会では、委員会が取り組む食品健康影響評価（リスク評価）についてできるだけわかりやすく情報発信し、食の安全性について「共に考える」一助とすることを目的として、季刊誌『食品安全』を平成 16 年度より発行しています。

これまでにお送りした季刊誌『食品安全』についてお聞きします。以下にあげる四つの項目について、あなたの評価はいかがですか。項目別に次の中から一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

なお、平成 17 年度に初めて食品安全モニターに依頼された方で、インターネットを御利用できる方については、既刊のものをホームページに掲載しておりますので、こちらも御覧になった上、お答えください。

【項目】

- 1 内容の分かりやすさ
- 2 説明内容の充足度
- 3 親しみやすさ（構成やデザイン、レイアウトなど、読みたくなるようなものか）
- 4 総合評価

【選択肢】

- 非常に評価している
- ある程度評価している
- あまり評価していない
- 全く評価していない
- わからない

問 17 季刊誌『食品安全』について、御意見があれば、回答欄にできるだけ具体的に記入してください。

御協力ありがとうございました。